

令和4年3月 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

- ・デイルームは十分なスペースがあり（パーテーション対応可）、隣接するおれんじ村など、過ごしやすい環境が整っている事から、様々な状況に応じて対応しやすい。
- ・児童については、職員間で日々情報共有し、支援の統一に努める事が出来ているが、スキルアップの必要性が望まれる。
- ・各関係機関との連携については、必要に応じて学校との連携を図り支援の統一に努めることは出来た。
- ・非常時の対応については、避難訓練を行い、職員間で問題点など再確認することが出来た。

保護者による評価

- ・環境や支援提供については、良い評価を頂く中で専門性については個人差があるとのことご意見を頂いた。
- ・保護者会、地域の児童との交流は、どちらともいえないとの回答が多い中、必要性を感じない、交流して欲しい、または保護者同士の連携を希望、等様々なご意見を頂いた。
- ・非常時の対応については、お便り等で周知されているが、説明は十分とはいえない。また、各マニュアルの周知（配布やHP掲載）を求めるとご意見も頂いた。



事業所内での分析

- ・非常時対応及び各マニュアルについては、継続し職員間で再確認しながら、各ご家庭への周知が必要。
- ・支援提供については多数のご家庭からご理解を頂いているが、さらに質の向上を目指すために事業所内外での研修、継続して関係機関との連携が必要。

事業所の強み

- ・室内が広く、状況に応じてパーテーションを使用、また隣接するおれんじ村がある等、子供たちが過ごしやすい環境が整っている。（作業所の様子を身近に感じたり、活動として体感できる。）
- ・職員配置については、必要に応じて事業所間で協力体制を取る事が出来ている。
- ・個々の特性や関心等に合わせ、活動を工夫するようにしている。
- ・職員間での情報共有、学校での様子確認、連携を図ることで、支援の統一に努める事が出来ている。

事業所の改善点

- ・非常時の対応や各マニュアルについては、保護者様への更なる周知が必要。
- ・職員研修の機会を確保していく。
- ・保護者様の日々の疑問や不安などは伝えて頂ける様ご家庭との連絡を密にし、迅速に対応出来るようにしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・非常時の対応については、継続して訓練を行いながら職員間で再確認し、迅速に対応できる様努める。
- ・保護者様の不安や疑問に対しては面談や日々の送迎時にお聞きしながら職員間で問題解決し周知していく
- ・研修またはミーティングを行いながら、個々のスキルアップを図り、職員配置数を整えることで、活動や個々の対応に、柔軟な対応が出来るようにしていく。
- ・障がいのない児童との交流等については、必要があるのか確認しながら、必要であれば検討していく。